



[様式第3号]

資料提供年月日	令和4年12月16日	
問い合わせ先	課名	環境事業課
	電話	直通 803-1321 内線 3966
担当者	職名・氏名	課長 岡崎 功
	職名・氏名	主任 平田 健二

広 報 連 絡

- 件名 岡山市立芳泉中学校の生徒会執行部が「ペットボトル to ペットボトル」の取組みを行います
- 趣旨 岡山市立芳泉中学校の生徒会執行部が、市内の店頭に専用の回収機を設置している株式会社セブン-イレブン・ジャパンと連携してペットボトルのリサイクル活動に取り組みます。
当日は同校の生徒約10人が夏休み明けに校内で集めたペットボトル約300本を専用の回収機に投入します。
- 日時 令和4年12月21日（水）15時～（30分程度）
- 場所 セブン-イレブン福田店（南区福田726）
- その他 岡山市と株式会社セブン-イレブン・ジャパンは「環境分野に係る連携協定」に基づき、令和3年10月13日より市内のセブン-イレブンの店舗に専用の回収機を設置しペットボトルのリサイクルの推進を行っています。※詳細は裏面を参照してください。
- 問合せ先 岡山市立芳泉中学校 熊田（くまだ）電話 086-264-9081
※取材を希望される場合は、事前に芳泉中学校へご連絡ください。

(参考資料)

NEWS RELEASE

2021年10月13日



岡山市
倉敷市
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
日本財団

西日本エリアのセブン-イレブン店舗では初！ 岡山市と倉敷市の店舗でペットボトル回収機を設置 ～10月13日（水）より順次稼働し、今年度中に両市で120台設置予定～

岡山市（市長：大森 雅夫）、倉敷市（市長：伊東 香織）、株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦、以下「セブン-イレブン」）、日本財団（東京都港区、会長：笹川 陽平）は、限りある資源の有効な活用と海洋プラスチックごみ対策を目的としたペットボトル回収事業を開始いたします。

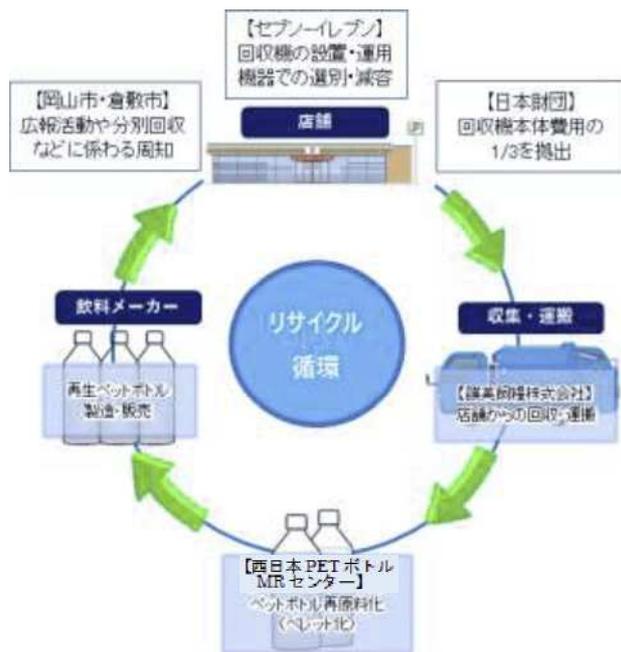
実施にあたり、岡山市・倉敷市内のセブン-イレブン 120 店舗にペットボトル回収機を新たに設置し、地域の皆様と共に、ボトル to ボトル^{*1}によるプラスチックのリサイクルと海洋ごみ対策を促進してまいります。

瀬戸内海に面する岡山市と倉敷市は、海洋プラスチックごみの流出を防ぐべく、これまでさまざまな取り組みを行ってきました。今回、瀬戸内海に面する4県（岡山県、広島県、香川県、愛媛県）との包括的海洋ごみ対策プロジェクト『瀬戸内オーシャンズ X』を推進する日本財団と、セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』のもと、プラスチック対策の一つとしてペットボトル回収機の設置を推進するセブン-イレブン・ジャパンが、互いの活動に賛同し、産官民が連携する本取り組みが実現いたしました。

四者の協同により、地域社会と一体となったペットボトルリサイクル活動に取り組み、“循環経済社会”の実現と海洋プラスチックごみの削減を進めてまいります。

*1 ペットボトルを再原料化し、もう一度ペットボトルに戻すこと。

<概要>



【四者の役割】

岡山市、倉敷市

- ・ 本事業の周知および正しい分別について、市民への浸透を図る。

セブン-イレブン店舗

- ・ 回収機の運用および回収資源の管理

日本財団

- ・ セブン-イレブン店頭に設置するペットボトル回収機について、本体費用の1/3を拠出。本事業の周知。

【ペットボトル回収機】

<開発メーカー>

株式会社寺岡精工

<機器サイズ> (単位：mm)

W650×D500×H1330

<収容量>

ペットボトル約280本

※500ml ペットボトル換算

